

# 第3学年社会科学学習指導案

日時 平成16年9月10日(金)5校時  
児童 男子6名 女子4名 計10名  
指導者 高橋 努

- 1 単元名 わたしたちのくらし  
教材名 「ベニヤ工場を見学しよう」

## 2 単元について

第3学年の社会科学の能力に関する目標は「地域における社会的事象を観察、調査し、地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、調べたことを表現するとともに、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力を育てるようにする。」である。この単元は、「(2)地域の人々の生産や販売について、次のことを見学したり調査したりして調べ、それらの仕事に携わっている人々の工夫を考えるようにする。」としている。ここでは、「地域には生産や販売に関する仕事があり、それは自分たちの生活を支えていること」「地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などのかかわり」を取り上げて学習する。このことを通して自分たちの村で働いている人たちの様子や生産のための工夫を捉え、原料や製品を通した他地域とのつながりに気づくようにすることと、今と昔の生産活動の違いや地域の自然環境と生産活動との関係を捉え、地域の生産活動と自分たちの暮らしとの結びつきについて考えを深めることをねらいとしている。本教材は村の工場・農家・商店について学ぶことになる。子どもたちは、出来上がったものだけを見て、働いている様子や物の製造工程などに接することが少ない。そこで地域の生産活動に従事している人の働く様子を追求していくことにより、子どもたちは生産された物を作っている人をより身近に感じることができ、新たな課題や疑問を持つだろう。それらの課題を解決するために、必要な資料を収集して自分なりに表現することで、自分たちの村に対する愛着を深めるために適した単元である。

児童は1学期に「みつめよう わたしたちの村」の学習で茂市地区を探検し、公共施設・土地利用等に気を付けながら、絵地図にまとめる学習を行ってきた。初めての社会の学習ということもあり、探検活動や作業的活動には大変意欲的に取り組んでいたが、教師の働きかけがなければ課題をみつけたり、まとめて発表したりすることはできず、本単元で育てたいことも多々ある現状である。読書に関しては、読む分野に偏りはあるが、意欲的に取り組んでいる。読書に関するアンケートでは、読んだことの感想などを自分から伝えたり、読んだことをもとに話しあって考えを深めたりすることを苦手としていることが分かる。社会科学における読書活動では、新里観光パンフレットなどを活用したが、そのまま与えるには言葉が難しすぎ、児童の実態に応じて手直しする必要があることが分かった。

指導にあたっては、単元の導入時に自分の家の人たちの仕事について調べさせる。男子児童の父親がベニヤ工場に働いているので、それをきっかけとして工場見学の計画を立てていく。単元を中心としてベニヤ工場の見学を設定し、事前事後の活動を行っていく。単元を通して扱う読書材は児童の実態を踏まえ、できるだけ分かりやすく取り組みやすいものにするために、工場から頂く資や関連した資料を手直しし、写真や映像も取り入れていきたい。本時の指導では、ベニヤ工場で作られた製品のその後の流通を調べることで、自分たちの生活との関わりを考えさせ、工場見学で学んだ製品のよさや工場の工夫を更に発展して考えていけるよう展開していく。児童の資料活用を力をつける手立てとして、児童一人ひとりが取り組めるような多様な読書材を用意し、読書材の概要を捉える場面を設定する。また、社会的思考力を高める手立てとして、調べたことを交流し合う場面を設定する。

### 3 単元の目標

生産や販売の仕事に携わる人々の様子や工夫について調べる中で、自分たちとのかかわりや他地域とのつながりに気づき、わかったことなどをまとめることができる。

地域の人々がどんな仕事に携わっているか、進んで調べようとする。(関心・意欲・態度)

地域にある生産や販売の仕事の工夫や消費生活を通じた他地域とのつながりと自分たちの生活とのかかわりについて考えることができる。(社会的思考・判断)

見学や調査をしたり、資料を読み取ったりすることを通して、地域にある生産や販売の工夫や消費生活を通じた他地域とのつながりについて調べたり、調べたことを工夫して表現したりすることができる。(観察・資料活用の技能・表現)

生産や販売の工夫を理解することができるとともに、自分たちの地域は、消費生活を通して他地域とのつながりがあることを理解することができる。(知識・理解)

### 4 指導計画(35時間)

(1) オリエンテーション(1時間)

(2) 村の人たちの暮らし(15時間)

段階	学習活動	時間	評価規準			
			関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
見通しを持つ	家の人たちがどんな仕事をしているか調べる。	1	・家のひとたちがどんな仕事をしているか調べようとする。		・家のひとたちがどんな仕事を調べ、発表することができる。	
	地域にあった工場について調べる。	1	・地域にあった工場について家の人たちや村で働いている人たちの職種を比べながら調べようとする。	・調べたことをもとに地域のよさに気づくことができる。	・	
調べる	工場見学の計画をたてる。	4	・ベニヤ工場を見学するための計画を立てようとする。	・	・工場見学に必要なことを調べ、質問などを準備することができる。	・
	工場の様子・ベニヤ板作り・働いている人たちについて調べる。	2	・工場見学の	・場見学の	・工場見学で、聞きたいことをメモすることができる。	
	工場で見学したことについてまとめる。	3	・工場見学の	・工場見学の	・場見学の	
まとめる	ベニヤ板と自分たちの暮らしとの結びつきについて考える。	1本時	・ベニヤ板と自分たちの暮らしとの結びつきについて考えようとする。	・ベニヤ板産業が自分たちの暮らしとどのように結びついていくか考えることができる。	・資料からベニヤ板のよさや役立ち方をみつけることができる。	・ベニヤ板と自分たちの暮らしとの結びつきについて分かる。

	発展		できる。		
学習して分かったことを新聞にまとめる。	3	学習したことをもとに分かりやすく新聞にまとめることができる。	・ できる。	・グループで協力し、工夫しながら新聞をつくることできる。	

(3) 農家の仕事 (12時間)

(4) 商店の仕事 (7時間)

## 5 本時の指導

### (1) ねらい

ベニヤ板の流通などの資料から、ベニヤ板と自分たちの暮らしとの結びつきについて考えることができるようにする。

### (2) 本時授業の仮説

次のような読書活動を行うならば、豊かに考える子どもが育つだろう。

仮説1 ベニヤ板が自分たちの暮らしにどのように関わっているか考えを広めるために、発展読書として資料を読み取る活動を位置づけること。

仮説2 ベニヤ板と自分たちの暮らしとの結びつきについて多様な視点で考えることできる読書材を選定すること。

仮説3 資料から分かったことを発表し合い、意見や感想を交流する場の設定をすること。

(3) 展開

段階	学習内容	支援と評価	準備
導入  4分	1 前時の学習内容を想起する。 2 学習課題を把握する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">ベニヤ板は、工場を出たあとどうなるのだろう。</div>	前時に工場見学したことをまとめたことを確認する。  ベニヤ板が自分たちの暮らしにどのように結びついているかを調べることを確認する。	カラーボックス   学習プリント
展開  36分	3 学習の見通しを持つ。 ・どんな資料が必要か考える。 ・資料の大まかな内容を知る。 ・調べたことのまとめ方を知る。  4 調べ学習をする。 ・自分の調べたい資料を選び、分かったことを学習プリントに記入する。 ・できるだけ多くの資料に取り組む。  5 調べたことを発表し合う。 ・どの資料のどの部分からどんなことが分かったかを明確に発表する。 ・同じ考えや付け足し、驚きや感想などを加えながら発表を深める。 6 学習のまとめをする。 ・発表をもとにみんなでまとめを考え、学習プリントにまとめを書く。	前時までのまとめで関連していることがあれば思い出させる。 課題解決の方法について考えさせてから、資料を提示し、紹介する。 学習プリントへの記入の仕方を確認する。 自分の興味ある資料から調べられるよう1つの資料を複数用意する。 ベニヤ板が家具になり家庭で使われまでの流通に即した資料を多数用意する。 個別指導の必要な児童には、こちらから資料を提示し、補足説明を行う。 児童の進度に合わせて声がけをし、様々な資料に取り組ませる。 1つの資料ごとに発表させ、関連する意見などを出させる。(ベニヤ板のよさに児童が気づかない場合は教師が提示する。) *自分の考えと比べながら友達の発表を聞き、自分の考えを発表することができたか。 板書をてがかりとしながら、できるだけ児童の言葉でまとめる。	読書材 ・VTR ・写真 ・プリント ・グラフ
終末  5分	7 ふりかえりをする。 ・ふりかえりカードを記入し、感想を発表する。 8 次の時の予告をする。	次の時間は今まで学習してきたことを新聞としてまとめることを知らせる。	ふりかえりカード

(4) 評価

評価場面	具体的評価規準	十分満足できる	おおむね満足できる	努力を要する児童への支援
・読書材から気づいたことを学習プリントに記入する場面と発表する場面(プリント・発表)	思考 読書材からベニヤ板と自分の暮らしの結びつきを考えることができる。	・様々な資料を調べ、それぞれの資料のどの点から分かるか根拠を明確にして発表している。	・資料のどの点から分かるか根拠を明確にして発表している。	・個別に指導をし、資料をより詳しく説明し、話し合いながらベニヤ板のよさに気づかせる。

(5) 板書計画

ベニヤ板は、工場を出たあとどうなるのだろう。

写真や資料などの読書材の提示

**資料**  
ベニヤ板工場  
ベニヤ板の行き先  
家具工場  
家具店  
その他

**わかったこと**

- ・いろんな所に運ばれている。・ベニヤ板は家具に多く使われている。
- ・たんす、本だななど自分の家でもたくさん使っている
- ベニヤ板のよさ(ゆかや家具にしやすい)・どんな形にもしやすい。
- ・平らなのでいろいろな物に使える。
- ・木をむだなく使える。

**まとめ**  
ベニヤ板は、全国各地に運ばれ、家具などになって、暮らしの中でとても役立っている。

6 利用する読書材

- ・ベニヤ板の流通について(わたしたちの新里)
- ・ベニヤ板の出荷先リスト(プリント)
- ・ベニヤ板工場の職員のインタビュー(VTR)
- ・ベニヤ板の出荷先の職員のインタビュー(プリント)
- ・家具店の方のインタビュー(写真・プリント)
- ・資料(ベニヤ工場の生産グラフ・家具の原材料の説明書・家具店広告等)